



10年ぶりの大雪にめぐまれた奥越地方は、六呂師、荒島両スキー場とも、県内はもちろん、遠く京阪神方面からのスキーヤーたちの一大メッカだ。今月だけでも1万人余の人出を数え、なお続々と押しかけて今後まだまだのびる予想に、地元ではうれしい悲鳴をあげている。なお

銀嶺は招く!

2月17,18日に六呂師スキー場でスキー祭りのはなやかに行われる予定である。写真 ①は広大なスロープにかかるスキーリフトは今日も満員。②はバス停留場から歩いて10分、眼前に広がる悠大なグレンダに見ているスキーヤーたち、いずれも六呂師スキー場で写す。

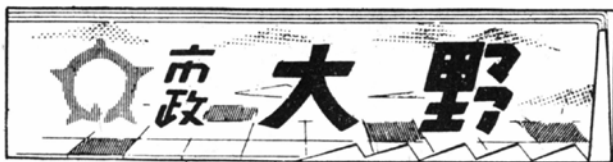
第3回市民スキー大会 総合優勝は富田地区

第3回市民スキー大会は1月29日、荒島スキー場で行なわれました。この日は朝から天候に恵まれ、各地区から出場した300人の選手の間で終日各種目にわたって熱戦が展開され、2,000人の観衆を喜ばせました。

この大会は、各地区対抗で男子の滑降、回転、距離、継走と女子の滑降、回転の種目で、総合得点では富田地区が優勝しました。男女別の得点は、男子の部では1位富田(84点) 2位阪谷(79点) 3位五箇(40点) 女子の部では、1位阪谷(41点) 2位富田(39.5点) 3位五箇(22.5点)でした。

この大会は、各地区対抗で男子の滑降、回転、距離、継走と女子の滑降、回転の種目で、総合得点では富田地区が優勝しました。男女別の得点は、男子の部では1位富田(84点) 2位阪谷(79点) 3位五箇(40点) 女子の部では、1位阪谷(41点) 2位富田(39.5点) 3位五箇(22.5点)でした。

1月の人口のうごき	出生	男 30	女 34	計 64
	死亡	" 18	" 20	" 38
	転出	" 58	" 40	" 98
	転入	" 101	" 93	" 194
	世帯	9,099		
	人口	46,825	男 22,763	女 24,062



発行 福井県大野市役所 編集 集 総務課広報係 印刷 松浦印刷所

臨時市議会から

第46回臨時市議会は1月25日 下庄出張所で開かれ、一般会計追加更正予算案など6議案について審議されました。主な内容は次のとおりです。

議案第1号、専決処分事項の報告
公有林整備事業債借入に伴う起債と償還の方法をきめました。

議案第2号、一般会計追加更正予算案
総額6,665,200円の追加更正がきました。これは主として、こんどの人事院勧告による給与改訂の費用その他となつています。

議案第3号 議会議員の報酬 および費用弁償に関する条例の一部改正について
こんど議員の報酬は議長月額20,000円(旧12,000円) 副議長17,000円(旧10,000円) 議員15,000円(旧8,000円)と決まりました。

0円)と決まりました。

議案第4号 特別職の職員の給与に関する条例の一部改正
市長、助役、収入役の年俸が次のように決まりました。
市長年額840,000円(旧682,000円)
助役年額768,000円(旧629,000円)
収入役年額528,000円(旧430,000円)

議案第5号 一般職員の給与に関する条例の一部改正について
こんどの人事院勧告による給与の改正で平均11.27%のベースアップが決まりました。

議案第6号 教育長の給料ならびに旅費支給条例の一部改正について
こんど教育長の給与が年額528,000円(旧月額40,000円)と決まりました。

市政懇談会から

皆さんの声を直接おききして市の行政に盛りこもうと、12月26日から1月12日まで各地区で市長をかこんで、市政懇談会をひらきました。

いろいろと建設的な意見や要望がのべられましたが、建設関係の道路の新設や補修の要望が一番多く98件もあり農務関係では病虫害の一斉防除と土地改良の推進が強く望まれ、生産向上への意欲がうかがわれました。

本年は教育関係の要望が多く、社会教育に対する財源的な要望が強く、婦人学級、子供会の育成、公民館活動などに対する予算の増額が各地で望まれました。商工関係では観光資源の開発と、工場誘致の意見や要望が多く、また発電工事に伴ういろいろの問題の早期解決も望まれました。



厚生関係では環境衛生の向上や、予防接種の負担軽減、救済費の無償配布などと共に、特に市民病院の建設促進

やへき地の医療行政の充実が要望されました。防火用水の確保と冬期間の防火規制の確立特に道路の除雪等についても早急善処するようとの声が強くなりました。

(写真は市政懇談会)

市の人口の動き

昭和35年度の大野市の人口の動きを見ますと、次のとおりになります。

満年齢別	死亡者
1年未満	15
1-10才	39
11-20	6
21-30	5
31-40	14
41-50	13
51-60	35
61-70	79
71-80	112
81-90	65
91-100	5
100以上	0



▼世の中の進歩 発達したが生活の不安(生活の不安)が、特に義務教育の課程を終えた中学生の進路は大きな問題を残している。▼まず来年度から昭和三十九年度にかけて、中学の卒業生はグングン増して、中学の卒業生のベビーブームに生れた子供たちが、大きくなって中学校を卒業する年頃になってきたわけで、今でさえ足りない公立立学校はもつと足りなくなり、入試競争はますますまじいものになることは必至である。▼これはひとりで福井県、当市だけの問題でなく全国的な問題でもある。▼これを一つベビークの昭和三十九年を例にとってみると、中学卒業予定生徒数は二一、七八〇人で、進学希望率は五五〇と推定して進学希望生徒数は二一〇八七人、三十六年度から三十九年度までに約九、〇〇〇人の増になることとなる。そこで嶺北で二校、嶺南で一校の高校新設を行い、その他現在ある十八校全体で約一、〇〇〇教室増築すると、なおかつ不合格者数は約三、〇〇〇人となり、大量の中学浪人が出ることになる。▼したがってこのような全般的な立場で考えることと、もう一つは、当市自体の立場で見ることにも必要になってくる。

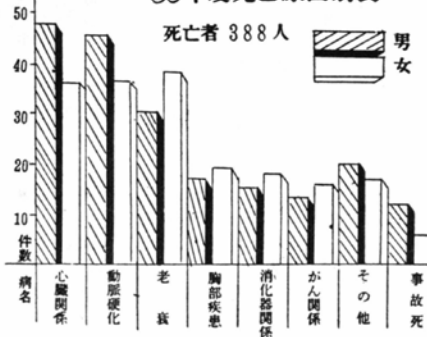
ありがとうございました

皆さんの御協力をお願いしました昨年共同募金運動と、年末たすけ合い運動は子どもまた立派な成績をあげることが出来まして、贈り先より非常によこんでいただきました実績は次のとおりであります。

共同募金実績 (単位円)	
区別	実績
大野	252,996
下庄	121,090
上庄	112,520
富田	76,510
阪谷	54,408
小山	35,520
乾側	27,421
五箇	16,190
計	696,655

富田	12,100	旭幼稚園	1,060
阪谷	8,170	小山中学校	3,855
小山	6,250	下掘子供会	600
五箇	5,145	レクリエーション協	860
乾側	3,015	安住 安	500
		川瀬 薫	200
		計	176,817
堀本 武	菓子1箱		
北御門子供会	餅1箱		
杉本 もと	" 3箱		
有中、有西、南校	" 4,500箇		
今村本店	石鹸242箇		
なお、このほか同情袋の米売上金30,400円、総計207,217円これらの物資は直ちに市内の被保護世帯、保護世帯、市内福祉施設、県内外の療養所などに入院している人をはじめ、気の毒な学童などの方々へ皆さまの温い愛情を贈りました。			

35年度死亡原因別表



◎出生は702人で月別では1月の出生が多く86人で最も少ない月は10月の26人です。

◎死亡は388人これを死亡原因別に見ますと、(グラフ参照)心臓関係の疾病84人、動脈硬化いゆる成人病が82人で全体の42%をしめていることは注目すべきことであります。

◎出生は702人で月別では1月の出生が多く86人で最も少ない月は10月の26人です。

◎死亡は388人これを死亡原因別に見ますと、(グラフ参照)心臓関係の疾病84人、動脈硬化いゆる成人病が82人で全体の42%をしめていることは注目すべきことであります。

◎出生は702人で月別では1月の出生が多く86人で最も少ない月は10月の26人です。

◎死亡は388人これを死亡原因別に見ますと、(グラフ参照)心臓関係の疾病84人、動脈硬化いゆる成人病が82人で全体の42%をしめていることは注目すべきことであります。

年令別	死亡者数
1年未満	15
1-10才	39
11-20	6
21-30	5
31-40	14
41-50	13
51-60	35
61-70	79
71-80	112
81-90	65
91-100	5
100以上	0



滅菌消毒器など 西校の給食はじまる

市内の小中学校24校で、250万円)が完成し、1月30日から週5日の完全給食が実施されていないのは有中と西校の二校だけでしたが、校舎の新築でよくれた西校も、こんど父兄や関係者の熱意と努力によつて、最新式の各種機械器具を備えた給食室(総工費

そこで苗作りには、温床冷床、露地のるツの方法がありますが、当場では温床で次の方法によつて行ないました。なお、温床を他の果菜類と同一の場合は、25℃以上になると、レタスの発芽は不良となります。覆土は川砂4ℓ(3.3m²)木灰4ℓを混合して行ない、細目のジョウロでたつぶり灌水し、温床紙で覆い発芽すれば除きます。

試験経過
△播種期より定植期にかけて気象的環境がよく全然植傷

がなかつた。
△昨年は暖春のため早植は収量が多かつた。
△昨年の初春期においては干天続きのため初期生育期に、水分が不足したように思われる。
△ニューヨークおよびインベリアルは早生腐敗病が少い。
△グレートレーク659号、グレートレーク366号、晩生種、腐敗病が多い

有望の特産物 大野ニンジン

10アール当り1万2千円。昨年、始めて大野のそ業特産物として栽培された

有望ソ業 レタスを作りましょう

食生活の向上に伴い、白い野菜から緑野菜へと、カロリーの高い、ビタミンの多い生食野菜へ消費市場の需用が変りつあります。これらの供給者である農家もこの面に焦点を合わせて、生産に努力せねばなりません。市農場でレタスの栽培試験を行いました。その試験の成績を参考に供しましょう

レタスの特性

レタスの生育適温は15℃～20℃の比較的冷涼な気温を好みますが、甘ツンなどと異なり平均気温が20℃以上になると、とうたして結球しないことがある。

苗作り

発芽までの積算温度は50℃程度で発芽時の適温は20℃であります。



意外に多い老人結核

昨年厚生省から結核予防対策特別推進地に指定されて、6月からレントゲン撮影を行なつておりましたが、このほどその結果がまとまりました。該当者(16才以上の方)20,694人のうちで、今年レントゲン検査を受けた方が、19,172人で、受検率は良く92.6%でありました。このうち、再検査を受けた方が、1,093人で、この検査の結果、療養を必要とする方が87人、休養を必要とする方193人、注意を必要とする方116人と計396人が結核患者として表わされました。

この内60才から70才までの方が91人五寸ニンジンの出荷は、5,928箱(16kg詰タボール箱)で、出荷目標7,002箱よりは少なかつたのですが、これは8月の炎天続きで発芽が悪るかつたためではないかと思われま。昨年は、近年にない野菜の暴落でありましたが、大野ニンジンには先進地、長崎、北海道に比べて品質が良く、消費地の評判は上々で、値段もキロ当り16円となり10アール当り1万2千円の収入がありました。五寸ニンジンは、都市の需要(消費)が、年々増加する傾向にあります。この地方のたばこの後作に最も適していますので、今後最も有望な特産物となることと見られます。

今年には60ヘクタールに。今年、たばこの耕作面積の多い、富田、阪谷、上庄を特産ニンジン振興地区として、共同出荷面積を60ヘクタールに増すと共に、10アール当りの収量を高め、10月～11月の間に一定の量を定期的に出荷出来るよう、目下関係者の間で、その対策をねつています。大野が全国に誇るニンジンの特産地となるのも間近のことでしょう。

と最高の数字を示していることは注目し、老人の結核に対する関心の薄さを物語つていと言えましよう。結核に侵されていながらもレントゲン検査によつて早期発見が出来、病気を悪化させず、未然に防ぐことができるのです。

なお、今年も実施されますが、こうした機会に進んでレントゲン検査を受けて、結核の早期発見とその予防に努められ、一人でも結核患者を少なくしたいものです。(現在市内結核患者は750人)

職安だより

こんど、職業安定協力員制度が設けられ、安定所から遠隔の方や、交通不便な地域の皆様の求職に関する色々な相談に応じております。就職に関することは協力員にどしどし相談下さい市内の協力員は次の通りです。
上庄公民館長 大沢 太敷
五箇農協長 三橋 光蔵

郷土いろはかるた

このる龜山城跡の石垣

龜山城は天正年間(4百年前)に金森長近の築いたものである。龜山とその山麓を城域とした平城兼山城で、明治の廃藩まで大野藩主の居城であつた。現在天守閣の石垣と堀の一部が残つていて、昭和32年7月県の文化財に指定された。天守閣あとに長近公の銅像が建てられている。

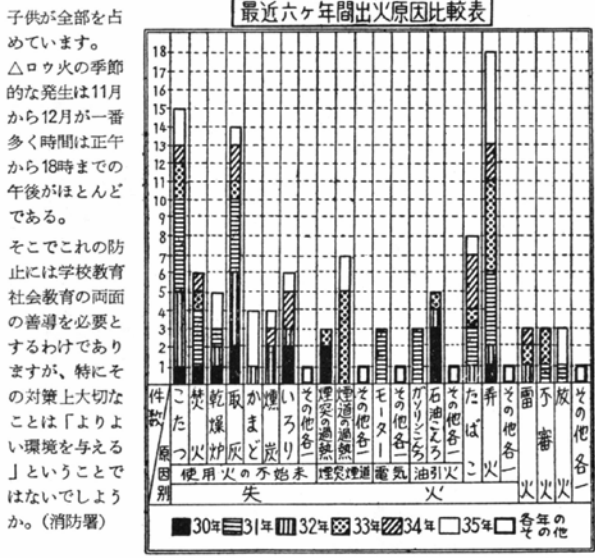
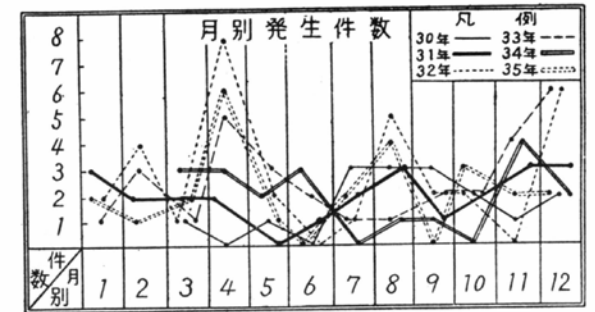


危ない子供の火遊び

消防署が昭和30年7月に発足してから現在に至る6年間の市内の火災発生状況は次の通りです。
△発生件数は148件で、その損害見積額は9千72万円となり1日に4万4千円が灰になつた勘定になります。これを年度別に見ますと32年度をピークとして減少の傾向にあることはよろこばしいことです。
△これを月別に見ますと第1表の通り4月が最も多く次いで12月、8月、11月の順となつております。4月がピークであることは長い冬から解放された心のゆるみが大きい原因でしょう。
△また出火原因別に見ますと第2表の通りで、子供の火遊びによるものが多く、次いで使用火の不始末の順となつております。この中特記すべきことは子供の火遊びが著しく増加の傾向にあることです。

火遊びする子供の心理

△マッチ箱そのものを持つて遊ぶ段階から大人の仕草を模倣し、マッチをするという慾望が芽生え、これがマッチをすつたととき発する光を見て感覚的に刺激され快感を覚えます。またそれが悪いことであるということは十分理解してながらその行為を犯すことがあります。
△火遊びは男児がほとんどであり幼年期(4才～7、8才)が大半を示し、農家の



子供が全部を占めています。
△ロウ火の季節的な発生は11月から12月が一番多く時間は正午から18時までの午後がほとんどである。
そこでこれの防止には学校教育、社会教育の両面の善導を必要とするわけであり、特にその対策上大切なことは「よりよい環境を与える」ということではないでしょうか。(消防署)

小児マヒ予防注射を実施

近年各地で小児マヒが多発し、当市でも、これによる不幸な方が約50人おります。市では、緊急対策として2月から予防注射を始めることになりました。この予防注射の該当者は、昭和34年7月1日から35年6月30日までに生れた人で、2月中旬に第1回が行なわれ、2週間後に第2回、7ヵ月後に第3回が行なわれることになっております。日程その他については、近くお知らせいたしますから1人残らず小児マヒ予防注射を受けてください。
△なお、費用の負担は、初回(2回分)694円、追加が347円となつておりますただし、1.保護者が市民税の所得割を課せられているものは全額負担。

- 2.市民税の均等割だけの方は4分の1負担
- 3.市民税を課せられていない方(生活保護者を含む)は無料であります。

市民課の窓口

- 1.住民登録は権利義務と直結する。保険、年金、選挙、印かん登録など皆さんの権利義務と直接関係のある窓口事務は、すべて皆さんの居住関係を公証する住民登録を基礎として行います。
- 2.住民登録は居住状態と一致することが肝心。住民登録は皆様の居住の実態といつても一致していなければ、権利義務についての事務に手違が生

- じ、思わぬ迷惑をおかけします。
 - 3.居住実態は住民台帳で把握される。皆様の居住状態は、各区の事務委託員(区長)も正確に調べておかなければならないことになり各区に住民台帳が備付けられます。
 - 4.住民その他の異動は必ず事務委託員に申し出て下さい。出生、死亡、転入、転出、市内異動、世帯主変更および婚姻、離婚など身分や住所に異動がある場合は、市役所へ届出前に、必ず事務委託員に申出て、異動連絡票をもらつてきて下さい。これらの届出をされる方は認印と国保被保険者証を必ず御持参下さい。
- 米の配給量がこれまで1人当り8kgでしたが、10kgにふえましたからお知らせします。

成人者感想文募集

市の教育委員会では、今年成人された方の感想文を次のとおり募集いたします。ふるつて応募して下さい。

- 題名 「成人式を迎えて」
- 内容 成人式を前にして、(ア)私は将来こんな人間になりたい(イ)私は現代の社会に対してこう思う。(ロ)大人の仲間入りする決意(ハ)その他成人になつてのどんな感想でもよろしい。
- 応募資格 今年成人になられる大野市民
- 枚数 四百字詰原稿用紙三枚以内
- 締切 二月末日
- 提出先 大野市教育委員会 社会教育課
- 表彰 入選三点 佳作三点 記念品贈呈